

内臓脂肪測定検査ってどんな検査？

CT 装置を使用し、メタボリックシンドロームの診断基準となる内臓脂肪面積を測定する検査です。内臓脂肪とは、腹腔内や内臓の周りにある脂肪のことです。これは内臓の位置を正しく保ち、衝撃を和らげるクッションの役割を持っています。しかし、この内臓脂肪が増えすぎると、高血圧症や糖尿病、動脈硬化などの生活習慣病を引き起こしやすくなります。



メタボリックシンドロームの診断基準

内臓脂肪 (腹腔内脂肪) 蓄積: ウエスト周囲径 85cm 以上 (男性) 90cm 以上 (女性)
(内臓脂肪面積: 100 cm²以上に相当 (男女とも))

《測定方法》

CT 装置でおへその位置を撮影します。検査時間は 5 分程度です (息止めは 5 秒程度)。

※ X 線検査のため、妊娠中又は妊娠の可能性のある方は検査を受診できません。



《検査結果見本》



内臓脂肪CT検査報告書

性別	性別番号	氏名
年齢	検査科目	科名
身長	体重	依頼医師
詳細診断	施設名 (一社) 非営利活動法人保健福祉センター	

検査結果

全臓脂肪面積	207.26 cm ²
内臓脂肪面積	91.24 cm ²
皮下脂肪面積	116.02 cm ²
内臓脂肪/皮下脂肪面積比	0.47
内臓脂肪	91.24 cm
BMI	21.28

検査結果の傾向

■ 内臓脂肪面積による肥満度診断
肥満度
70.65以上
59.41 ~ 70.65 (40代以降では標準です)

■ 皮下脂肪面積による肥満度診断
肥満度
70.65以上
59.41 ~ 70.65 (40代以降では標準です)

■ BMI
肥満度
25.0以上
20.0 ~ 25.0 (標準です)

検査結果の傾向

検査結果の傾向

検査結果の傾向

左図のレポート内に、撮影したおへそ周りの画像が添付されます。画像内の青色が皮下脂肪、赤色が内臓脂肪を表します。

結果には内臓脂肪面積のほか、皮下脂肪面積や全脂肪面積の計測結果も表示されます。

また、内臓脂肪面積や計測した体重から、BMI による肥満度の診断と内臓脂肪量による診断も可能です。

